



第89号/2023年7月18日

おおさきかみじま 議会だより

令和7年6月定例会

就任のごあいさつ	2
決まった主なこと	3
7議員が一般質問	4～13
委員会報告	14～15
あれから・編集後記	16



就任のごあいさつ

大崎上島町議会

議長 閑田 大祐



暑中お見舞い申し上げます。

去る3月23日に執行された町議会議員一般選挙により、新たな体制のもとでこれからの議会運営を図っていくこととなりました。

少子高齢化に伴う人口減少が著しいなか、議長という要職を務めさせていただくことは誠に光栄に存じますとともに、その重責を痛感しているところであります。

我が国の社会経済状況は、30年近く続いたデフレ経済からようやく脱却の兆しを見せる反面、それに伴う物

価高により国民の暮らしが好転しているとはいえず、地方においては人口減少による担い手不足が深刻化しています。地方行政にとっても人口減少は地方交付税の減額等、大きな悪影響を及ぼし、財政の硬直化を招くことが懸念されます。

こうした中、財政規律の確保とともに、高齢者福祉町の未来を担う子どもたちの健全な育成や少子化対策、海上交通対策、産業振興、防災対策、とりわけ近く起りうると思われる南海トラフ地震への備えなど、喫緊の課題が山積しています。町議会といたしましてはこれらの課題に対しより一層の創意工夫を積み重ね、安心・安全な町の実現と大崎上島町のさらなる発展を目指し、行政とともに一丸となつて最善の努力を尽くしてまいります。

今後とも町民の皆様方のご理解、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。さつといたします。

大崎上島町議会

副議長 水橋 直行



副議長に就任するにあたりご挨拶申し上げます。

まず初めにこの職務を担う機会を与えてくださった皆様に深く感謝いたします。

私は、町民の方を裏切らず受けた恩をしっかりと返すことを信念とし、町民の皆様の声を真摯に受け止めこれからの任期において皆様とともに議会がより良い方向に進むよう努力してまいります。

副議長としての役割は、議長を補佐し、円滑な議会運営を助けることです。それだけではなく各議員や町民の皆様の声をしっかり反

映させることができよう努めます。

過疎化と人口減少、高齢化、交通インフラなど問題山積ですが、美しい自然環境があり新鮮な海産物や柑橘をはじめとする特産品などの多くの魅力があり、温かいコミュニティもあります。

皆様に協力していただきながら魅力あふれる町づくりに努めます。

議会は町民の信頼に基づいて成り立っています。私たち議員一人ひとりがその責任を重く受け止め、透明性のある運営を心掛けていくことが信頼につながると思っております。

今後も皆様のご指導・ご鞭撻を賜りながら、皆様と手を取り合います。スピード感をもって進んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

決まった主なこと

第2回定例会(6月議会)

大崎上島町議会は、令和7年第2回定例会を令和7年6月10日火曜日から2日間の会期で開会しました。

7名で22件の一般質問、5件の報告、7件の議案、2件の発議、審議事項はすべて可決で閉会しました。

- ・ 繰越明許費繰越計算書（令和6年度大崎上島町一般会計）について
- ・ 繰越明許費繰越計算書（令和6年度大崎上島町介護保険事業特別会計）について
- ・ 予算繰越計算書（令和6年度大崎上島町下水道事業会計）について
- ・ 事故繰越し繰越計算書（令和6年度大崎上島町一般会計）について
- ・ 専決処分した事件の報告について
- ・ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例及び大崎上島町税条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町営住宅条例の一部を改正する条例について
- ・ 大崎上島町過疎地域持続的発展計画の一部を変更することについて
- ・ 令和7年度大崎上島町一般会計補正予算（第1号）
- ・ 令和7年度大崎上島町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 工事請負契約の締結について
- ・ 大崎上島町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 地方財政の充実・強化に関する意見書案について

第1回臨時会(令和7年4月7日・11日)

- ・ 議長の選挙
- ・ 副議長の選挙
- ・ 常任委員会委員の選任
- ・ 議会運営委員会委員の選任
- ・ 広報調査特別委員会の設置
- ・ 広島中央環境衛生組合議会議員の選挙
- ・ 広島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- ・ 広島県水道広域連合企業団議会議員の選挙
- ・ 専決処分した事件の報告を求めることについて 他4件
- ・ 大崎上島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・ 大崎上島町監査委員の選任につき同意を求めることについて

令和7年第2回定例会一般質問項目

議員名	質問事項
渡辺 年範	広島商船高専女子寮建設支援の現状は
赤松 良雄	フェリーの改善を
	防災無線の入りが悪い
	町の補助金の周知は
	排水ポンプの増設を
	木江小学校の暑さ対策は
	町内の企業との協議は
	幼稚園通園補助金は拡大できないか
	スポーツ活動補助は
水橋 直行	観光振興をどう考えるか
浜田 幸造	木江支所前の遊休地（アバ）の活用計画は
	町道及び県道の区画線の整備を
	元木江中学校施設の活用を
信谷 俊樹	定期預金証書担保で一時借入金はあるのか
	社会保険料の抑制について
	住民との約束について
	農業の長期展望は
進藤 雅通	農業耕作放棄地について
森 ルイ	新たな運行体制となった町内バスの運行への対応は
	南海トラフ地震防災対策について
	子育て支援について

一般質問

町政を問う

7人の議員が22項目を質問



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

問

広島商船高専女子寮建設の現状は

答

広島商船高専と文部科学省の協議にかかっている

質問（渡辺議員）

平成30年の3月定例会で、執行部より平成29年度の補正予算で広島商船高専女子寮建設の支援として債務負担行為により、3年間で5億5000万円の補助をする案が上程された。財源は過疎債ではなく一般財源である。

この提案に対し、「町の補助金を受ける前に保護者会や同窓会に支援を求めめるのが先ではないか」等の理由により議会はこれを否決した。

私はこれに対して次のような賛成討論をした。

①この補助を投資と考えれば定員80名の寮であり、毎年80人の住民登録ができ交付金が80人分プラスされる。長い目で見れば損をする投

資ではない。

②町は教育の島という政策を掲げており、対外的アピールになる。

③関係者の寄付金を集めるのが先との意見があるが、町の債務負担行為（補助金）が決まらないのに建設が決定できない。寮の建設が決まらぬのに寄付を集めるのは難しいのではと。

以上を踏まえて、現在の状況及び町長の考えを問う。

答弁（町長）

町に対し、現在も高専からの女子寮建設支援の要望はあるが、文部科学省の了解なしに動くことはできない。現状は高専側と文部科学省側の協議が十分できておらず、地元として支援するには、協議の進行状況を

見極める必要がある。

質問（渡辺議員）

この質問の意図は、同時に約3億6500万円で学習交流センター（実質海星高校の寮）を建設し毎年約6500万円近い維持管理費を要しているが、高専の女子寮は後の維持管理費は不要であり、投資の見返り（交付金）を待つだけという意味で早く実現すべきだと今も思っているからだ。

また、当時の執行部の提案として、5億5000万円という具体的な数字も上がっており、高専側と文部科学省側の協議はできていたと思われる。先ほどの町長の答弁と食い違うが、その辺の事情をどう思うか。

答弁（町長）

推測になるので申し上げられない。

質問（渡辺議員）

補助金の要請があればどうするのか。

答弁（町長）

議会の了解を得ながら進める。





あかまつ よしお 赤松 良雄 議員

問 フェリーの改善を

関係者と協議する

質問 (赤松議員)

国の補助金と安芸津航路と竹原航路との共通切符発行・切符有効期限延長と有効期限が竹原航路と安芸津航路が違っている。洋式トイレとシルバールーム設置。エンジンの故障が多いので改善を。

答弁 (町長)

切符の統合は法的問題があるが運輸局等と協議する。

答弁 (企画課長)

指摘されたことを関係者と協議する。

問 防災無線の入りが悪い

改善している

質問 (赤松議員)

町長が出席した区懇談会で防災無線の声が入らないという意見が出たので改善を。

答弁 (総務課長)

業者が現場に向かい改善している。

問 町の補助金の周知は

関係課と連携し周知

質問 (赤松議員)

ある家庭が大崎上島町に転入したが、子どもに対する補助金等の説明がなく補助金がもらえなかった。子ども医療費助成を周知していないと看護師から聞いた。役場窓口と学校で周知すべきでは。

答弁 (副町長)

子育てハンドブックを配布し周知している。

答弁 (町長)

関係課と連携する。

問 排水ポンプの増設を

検討する

質問 (赤松議員)

平成30年の水害時、町は適正に管理していたと議会答弁していたが今でもそう

考えているのか。

垂水地区の私の知人が2m水位が上がり水門管理者に通報してはじめてポンプを稼働した。

中野八幡神社東側の入口の分水路にごみが詰り本郷川の水全てが原下に流れて浸水が起こった。今まで4回もあった。何度もごみ対策をお願いしていたが改善されない。

親水公園ポンプの改修工事を行ったが、排出量は43m³/分を37m³/分と何故か更改。誰が計画して、誰が決裁したか。

片浜区など3区長は昨年谷川町長に、親水公園のポンプ改善の要望をした。片浜地区流域調査の予算がついている。ポンプ場の検討はどうなっているのか。

答弁 (町長)

8年前のことは熟知していない。本郷川の越水は今後検討する。

答弁 (副町長)

ポンプ改修は一般的搬出

量で決定した。

答弁 (建設課長) 43m³の資料はない。



問 木江小の暑さ対策は

エアコン等で対応

質問 (赤松議員)

学校の暑さ対策をしてほしいと、木江地区の運動会に参加して言われたがどうか。

答弁 (学校教育課長)

網戸は危険、エアコン等で対処とする。

問 町内企業との協議は

答 今後協議する

質問 (赤松議員)

町内の基幹産業である造船所や加工場などの企業との要望など協議は行っているのか。多くの企業は外国人を雇用しているが、住宅確保の要望は出ているのか。

答弁 (地域経営課長)

協議していない。今後商工会等で協議する。

問 幼稚園通園補助金は拡大できないか

答 拡大は出来ない

質問 (赤松議員)

幼稚園等助成金は居住地まで4km以上補助しているが拡大できないか。

答弁 (学校教育課長)
子育て支援でないので出来ない。

問 スポーツ活動補助は

答 改善した

質問 (赤松議員)

全国大会・中国大会に出場する人に補助するとあるが、大会でない人になぜ補助をした。

答弁 (教育長)

出場すれば助成するとあるので助成したが、今回改正した。



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。
(※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。)



iOS



android



議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**9月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。



2次元コードを読み取ることで町議会の定例会・臨時会録画放送を見ることができます





みずはし 直行 議員

問 観光振興をどう考えるか

答 長期総合計画を中心として検討する

質問（水橋議員）

町の観光客は、コロナ前までは8万人前後、コロナ禍で3万人台まで下り、コロナ禍も開け、現在では4万人台まで回復しているというデータがある、長期総合計画の中で、町は令和16年に8万8,000人を目指すとしている。

そこで、何点か伺う。
①大崎上島町のんびりゆったりぐるりマップの中身についてどのよう更新しているか。
②島内のトイレについて、トイレの清掃状況はどうなっているか。
気持ちよく利用してもらうためにもシルバー人材センターの方に協

力してもらおうのはいかがでしょうか。

③商工会や観光協会等が特定の観光案内マップを作成しているが連携は取れているか。

④徒歩での観光客のために観光マップ内に主要なバス乗降所を入れてはどうか。

⑤大崎上島町と交流のある市町を見ると道の駅等で地産地消のものなど買える場所があり特に週末などは大変にぎわっている。地域の方からも野菜や加工品などを販売する場所や新鮮な海鮮を食べる場所がほしい。そもそも食事する場所が少ないなどの話を聞くがどのように考えるか。

①年1回、掲載情報を更新し、増刷をしている。

答弁（地域経営課長）

①年1回、掲載情報を更新し、増刷をしている。

基本的には大まかな情報を掲載し、掲載情報に不足があるとの認識はないが、利用者がさらに利用しやすいものとなるよう新たな情報の掲載が必要となった場合には、年1回の更新時に検討をして改善をしていく。

②現状で清掃を委託している部分について、町の職員は定期的に状況を確認していない。

住民の方や利用者から、トイレが汚かったというような声は時々届く。その場合は、都度、指定管理や委託している団体に連絡をして清掃してもらっている。

③現状のぐるりマップでは情報量が多く、そこへバスの乗降ポイント載せると逆に煩雑になり過ぎることを懸念して、145の乗降ポイントのうち、名所や観光の主要なところを載せる検討をしている。

④現状では、指摘のとおり場所がないという生産者の方の希望を聞いている。長期総合計画の中でもうたっているが、既存の施設あるいは町有地でそれができるかということも含めて、適地がどのような形で、どのようなものをやるかというのをこれから具体的に詰めて、関係者とも話をしながら長期総合計画を中心として検討をしたいと切に思っている。

（副町長）

②島内のトイレを確認した。一部清掃が行き届かず、少し汚れている状況もあった。

シルバー人材センターとの協議もあるが、前向きに検討したい。

③観光客の方によつては、特定のマップが欲しい、もっと詳しく知りたいという方がいる。そこは観光協会や地域経営課でも食に関するものなど個別に作成をして観光客の方には提供している状況。

④現状のぐるりマップでは情報量が多く、そこへバスの乗降ポイント載せると逆に煩雑になり過ぎることを懸念して、145の乗降ポイントのうち、名所や観光の主要なところを載せる検討をしている。

⑤現状では、指摘のとおり場所がないという生産者の方の希望を聞いている。長期総合計画の中でもうたっているが、既存の施設あるいは町有地でそれができるかということも含めて、適地がどのような形で、どのようなものをやるかというのをこれから具体的に詰めて、関係者とも話をしながら長期総合計画を中心として検討をしたいと切に思っている。

（企画課長）

④現状のぐるりマップでは情報量が多く、そこへバスの乗降ポイント載せると逆に煩雑になり過ぎることを懸念して、145の乗降ポイントのうち、名所や観光の主要なところを載せる検討をしている。

⑤現状では、指摘のとおり場所がないという生産者の方の希望を聞いている。長期総合計画の中でもうたっているが、既存の施設あるいは町有地でそれができるかということも含めて、適地がどのような形で、どのようなものをやるかというのをこれから具体的に詰めて、関係者とも話をしながら長期総合計画を中心として検討をしたいと切に思っている。

（地域経営課長）

⑤食事をする場所は、すぐ町で開業するのはなかなか難しい。

それが少ないのも、観光客が少ない、利用する方が少ないということが開業がなかなか進まないということも1つの要因として考えられるので、観光客の増加に向けてしっかり取り組んで、結果、そういう場所ができていくということになればと考えている。

（町長）

⑤現状では、指摘のとおり場所がないという生産者の方の希望を聞いている。

長期総合計画の中でもうたっているが、既存の施設あるいは町有地でそれができるかということも含めて、適地がどのような形で、どのようなものをやるかというのをこれから具体的に詰めて、関係者とも話をしながら長期総合計画を中心として検討をしたいと切に思っている。



はま だ こうぞう 議員
浜田 幸造 議員

問
木江支所前の遊休地(アバ)の活用計画は

答
地元とも協議を行いながら、
県に引き続き要望していく

質問 (浜田議員)
平成29年6月、令和2年6月、令和5年6月定例議会の質問に対し、「県に引き続き道路改良の早期実現に向けて行く」との答弁があったが、その後7年も経っているが何にも動きがない。
支所前の県道大崎上島循環線は狭隘で道路形態が悪く、路肩コンクリート擁壁も老朽化し危険な状況であり、その上、大型車両の交通量が多く、木江地区児童の通学路にもなっている。また支所周りには駐車場が少なく、支所への来訪者や観光客にとっては非常に不便で危険な状況にある、

そのためにもアバを早期に整備し活用していくことが必要である。
町長は支所周りの現況をどのように捉えているか。

答弁 (建設課長)

木江支所前県道のこの区域は、通学路の安全点検の指摘箇所である。県に拡幅と歩道の整備を要望している箇所でもあるが、現在計画が進んでいない。
また、木江支所前来庁者の用駐車場も少ない。
駐車場整備を含め、土地取得に向け地元と協議を行いながら、引き続き県に道路改良の早期実現に向け要望していく。



問
町道及び県道の区画線の整備を

答
交通量も多く傷みの激しい箇所から実施する

質問 (浜田議員)
区画線の整備費として、毎年度当初予算で80万円(4000円×20000m)

問
元木江中学校施設の活用を

答
利活用検討委員会に諮り、検討していく

計上しているが、県道大田木江線は全線、県道大崎上島循環線は岩白地区、外表・鮎崎地区、垂水港、盛谷地区、脇之浦地区、木江郷地区、野賀地区、沖浦地区、明石草木地区は殆ど改善されておらず、道路交通上非常に危険な状況にある。工事費は多額にはならな
いと思うし、工事も短期間で施工出来るので、何年もかけず、交通事故防止のためにも早急に区画線の整備を。

答弁 (建設課長)

一度に全線を整備することとは困難で、交通量の多い箇所や傷みの激しい箇所から予算の範囲内で、交通事故防止につながるよう整備する。
令和7年度については全線ではないが、岩白地区・沖浦地区・草木地区・郷地区・白水地区のオーバレイ(アスファルト舗装)に伴い区画線の整備も実施する。町道についても同様に予算の範囲内で実施する。

質問 (浜田議員)
元木江中学校の施設は、築数十年経っている。
体育館は屋根や外壁に腐食や剝落があるが、改修すれば防災倉庫や避難場所としても使用できるし、グラウンドは県道等が災害で寸断された時にヘリポートとしても使用が可能で、災害時の一次避難場所として使用できると思う。
3中学校が平成21年4月に統合され、いまだに放置状態にあり、管理がされていないため、不法侵入やゴミの不法投棄・盗難・放火など、様々な犯罪の発生源となってしまう恐れがある。定期的に点検・管理を行っているのか。
校舎は危険建物と指定されていると聞いていますが、いつどのような耐震診断を

行ったか、また現在校舎内はどのような状態になっているのか、災害時に何時でも使用できるよう整備しておくべきだ。校舎は危険建物で、いずれは解体撤去になると思うが、今後どのようなようになっていくのか。

答弁（総務課長）

校舎内の状況は、机や椅子を残したままである。内壁の状態については、剥落等の目立った損傷は見当たらないが、改修するには多額な予算が必要と考えている。また体育館・木工室等は当時使われていた状態にあるが、グラウンドについては、津波に対する一次避難場所として活用できる。

施設の管理については、施設錠をしているが、点検などは行ってはいない。

耐震診断については平成21年度に既存のコ



ンクリートを破壊検査したところ、耐震基準を満たしていない結果があった。

施設の今後については、平成28年度に校舎利活用計画を作成したが、具体的な方向性を見いだせないまま現在に至っている。利活用に当たっては、様々な手法があると思うが、利活用検討委員会の意見を貰いながら検討していく。



信谷 俊樹 議員

問 定期預金証書担保で一時借入金はあるのか

答 ない

質問（信谷議員）

歳計現金不足を短期の（6ヶ月）定期預金証書で借入しているのかどうか。

歳計現金が在りながら一時金不足の為、定期預金証書を担保に一時借入することは歳計現金運用としては適切ではない。

答弁（会計課長）

定期預金証書を担保に借入金はない。今後も健全な資金運営に努める。

問 社会保険料の抑制について

答 支援体制等を強化していく

質問（信谷議員）

社会保険料は賃金課税なので不足分は保険料で賄ってきたが少子高齢化で今後困難な状況が予想できる。地域全体で生活習慣病予防など出来ることを作業・理学療法士など関わってもらい健康生活維持によって医療費削減など貢献できるので積極的に対応すべきだ。

答弁（健康福祉課長）

生活習慣予防教育・地域包括支援センターの支援体制の強化、長期総合計画の施策の充実などを通じ専門性を持った人を誘致強化したい。

問 住民との約束について

答 順次対応実行した

質問（信谷議員）

住民と車座談義をした際に出た要望への対応は。

答弁（町長）

有害鳥獣駆除などやグラウンドゴルフ場の利便性や火葬場の路肩道路舗装など身近な問題などにも順次対応実行した。

問 農業の長期展望は

答 課題はあるが長期的な取り組みを進めていく

質問（信谷議員）

農業所得の増収を推進していくのか。

答弁（地域経営課長）

高齢化や後継者不足などの課題はあるが、長期的な取り組みやブランド化の推進、スマート農業の導入などを重点的にやる。



進藤 雅通 議員
しんどう まさみち

問 農業耕作放棄地について

答 県や中間管理機構、農協、農業委員会等の関係団体との連携を強化し、耕作放棄地対策に取り組んでいく

質問（進藤議員）
移住者の多くは農業をやられる方が多いが、農業を辞め、今現在も荒れている畑がある。畑の再生にはお金も掛かるが、農業放棄地に対し行政として何か対応を考えてるか。

答弁（地域経営課長）
現在、耕作放棄地の防止を目的として、傾斜地の保全活動を支援する中間地域等直接支払制度や水田の保全活動を支援する多面的機能支払交付金制度を活用した取組を実施している。
今後は、新規就農者や規模拡大を考えてる農業者の方と、耕作が

難しくなっている農地の所有者や農業を辞められる方とをスムーズにつなげる仕組みづくりや、さらなる担い手の育成を図っていくことが重要で、そのためには、県や中間管理機構、農協、農業委員会等の関係団体との連携を強化し、耕作放棄地対策に取り組んでいく。

質問（進藤議員）
現在、平地を整備し畑を作っているが、島は段々畑が多いところで、そういった場所でも畑の再開発はできないのか。
答弁（地域経営課長）
傾斜地・急傾斜地というのは農作業の効率性を考えると、辞めていくところが多いと思うが、緩傾斜地に

ついて、島という地形の特有上、県と緩傾斜地を活用した農業振興ができないか現在協議をしている。

質問（進藤議員）
レモン農家が増えて、レモンの苗は町からの補助もあるが、レモン以外の何か次の果物、生産物というのを何か考えているか。

答弁（地域経営課長）
現在、町はレモンの生産を振興しているが、レモンについては輸入が9割というところで、国産が少ないこともあり、今後しばらくレモンの需要は続いていくのではと考えている。
ただ一方で、その他の柑橘については、昨今の気象状況の変化、温暖化等で収

穫量が減っていると言う報道が発表され、その中で、気象状況に都度対応した品種というのを町としても生産に向けて振興を図っていきたいと考えている。

質問（進藤議員）
新たな就農者への育成について聞く。

答弁（地域経営課長）
現在、新規就農者に対しては、研修制度というのを設けている。町内の認定農業者の所で1年ついて農業を学んでいく制度を設けている。





もり 森 ルイ 議員

問

4月から新たな運行体制となった町内バスへの意見・要望の対応は

答

引き続き利用状況やご意見を注視し、よりよい公共交通の移動手段の実現を目指していく

質問（森議員）

町内バスの新たな運行体制について次のことを伺う。

- ①利用者からの意見・要望と対応は。
- ②現状の課題と今後の対応は。
- ③乗降ポイントの増設は。
- ④キャンセルなし未乗車へのシステム上の対策は。

答弁（企画課長）

①「便利になった」との声がある一方で、「デマンドバスの利用に対して不安」「時刻が変わったため、どの便に乗ればいいのか分からない」といった意見もある。

地域サロンなどでのデマンドバスの説明会の開催や、

わかりやすい時刻表の配布、島外への外出であれば行き先までの乗り継ぎなどをシミュレーションした説明を行い、対応している。

②今年度策定する【大崎上島町地域公共交通計画】において公共交通に係る意見やニーズを収集し、令和7年4月からの陸上交通の改定に対する意見も把握するので、引き続き利用状況やご意見を注視し、よりよい公共交通の移動手段の実現を目指していく。

③交通計画策定時のアンケートなどで要望を承り、公共交通連携協議会に諮り検討していく。

問

南海トラフ地震防災対策は

答

県とも協議しながら進めていく

④システム変更を検討したが難しいため、注意喚起のみとなる。

質問（森議員）

南海トラフ地震防災対策について次のことを伺う。

- ①県のHPには最大震度6強と想定されている市町と協力して地震に対する備えを普及啓発するチラシ作成や耐震改修・除却の補助金などについて記載があるが、県との協議は。
- ②令和6年3月以降の大崎上島町地域防災計画の見直

しは。
③浸水エリアに役場が入っているか。

- ④防災DXの検討は。
- ⑤県が導入したストーリーリンクを利用して、ドローンを活用した災害時の物資運搬の実証実験の予定は。
- ⑥避難行動要支援者名簿と個別避難計画の進捗状況は。

答弁（総務課長）

①住宅の耐震改修や建て替え、除却等を補助する広島県の住宅耐震化促進支援制度については、現在本町でも導入について協議をしている。県と連携しながらハザードマップ等の整備促進、自主防災組織の設立、それに伴う訓練の実施など、南海トラフ地震を想定した防災対策を進めていく。また、チラシ等の作成も検討していく。

②2年に一度修正で、次は令和8年3月を予定しており、修正に向けて事務を進めているところ。

③役場本庁は1階が浸水範囲に入っており、災害対策本部は2階としている。緊急用の発電機と太陽光電池が1階にあり、2階に上げる対策を練ろうとしたが予算が膨大になることから延期している。今後、対策していく。

④垂水、大串など排水施設を中心とした12か所にカメラを設置し、ライブ中継で現状を把握できるようにしている。垂水の排水機は、水位が上昇した場合には自動でポンプが稼働するなど、デジタル技術を活用して災害対応の効率化を図っている。今後も、各市町での防災DXの導入状況などを把握しながら、本町の条件や状況に合ったもの取り入れていけるよう検討していく。

⑤災害時、市町村に自衛隊が派遣されるかどうか分からない状況で、ストーリーリンクとドローンを活用した物資運搬は迅速に支援ができる手段として検討していく

たいと考えている。また、実証実験をした市町にも聞き取りをして、訓練ができる方向で検討していく。

答弁（健康福祉課長）

⑥令和7年4月現在、

要支援者名簿登録者数は155名で、個別避難計画の策定実績は0件となっている。その理由としては避難行動要支援者の対象者要件の見直しがあり、単に75歳以上の高齢者のみの世帯とせず、避難能力の有無と避難支援の必要性を勘案することや、本人による申請だけでなく申請がなくて心身等の状況により対象にすることとした。できるだけ早期に作成できるように、お住まいの自然災害のリスク、本人の心身の状況、居住実態の状況等を勘案して、優先度の高い方を抽出し、ケアマネジャー等と連携しながら

ら個別避難計画の作成に取り組んでいる。なお、津波による被害想定は、広島県独自の被害想定を参考にしている。国の被害想定に基づいて県の被害想定の見直しがあれば、本町においても見直しを図る。

問

保留措置中の放課後子ども教室大崎教室の夏休みの運用は

答

受け入れ体制を整えていけるよう検討していく

質問（森議員）

子育て支援について次のことを伺う。

①放課後子ども教室大崎教室の保留措置と夏休みの運用は。

②障がいのある児童・生徒が利用する旧大崎幼稚園駐車場の湧水対策は。

答弁（生涯学習課長）

①50名弱の申込みがあったが、要綱で定員30名と規定

しており、運営に当たってスタッフの不足により児童の安全・安心が担保できない状況があると判断し、小学校4年生以上の受入れを保留としている。夏休みの運用については、通年で利用される子供の数が例年夏休みの期間は減少するといふ状況もあることから、事務局職員を含めスタッフを確保し、夏休み期間に限り受け入れ体制を整えていけるように検討していく。

答弁（学校教育課長）

②現在、施工方法について検討しており、幾つかある中でよりよい方法を検討した上で、改善する方向で進めている。



広報調査特別委員会



委員長	森	ルイ		
副委員長	末光	透		
委員	赤松	良雄	水橋	直行
	進藤	雅通	下末	典和

前委員長・新委員の一言

【水橋委員】

3期目の広報委員です。前期では委員長を務めさせていただきました。今期は委員として活動させていただきます。この2期で培った経験と実績を十分に発揮し広報委員一丸となるよう協力し、わかりやすい広報誌になるよう活動していきます。

【末光委員】

この度、初めて町議会議員になり、広報調査特別委員会でも副委員長を務めさせていただきます。先輩方に教わりながら広報誌づくりを頑張ります。

【下末委員】

今回初めて町議会議員になり広報調査特別委員で頑張ります。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：進藤雅通 副委員長：森 ルイ
委員：末光 透 渡辺年範 関田大祐

令和7年6月議会までの委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

○学校教育課

Q・需用費の残について、今後も予算計上のない項目での修繕等が発生した時の対応は。

A・早急な対応が必要な場合は、流用・臨時議会等で、間に合えば定例議会により補正予算を計上する。

Q・ALTの活用で、授業以外でも全体的に遊びも含めて携わった方がいいのでは。

A・英語でコミュニケーションを取れる機会を学校で作れるように教育委員会から学校へ話していきたい。

Q・AIの活用による英語教育強化事業について、何か進んでいるか。

A・これはまだ本当に、6

月、7月から始まるということで、まだこれから。

Q・小学校の規模適正化委員会の第1回目予定は。

A・出来るだけ早く第1回目を開催したいと思っている。



○生涯学習課

Q・スポーツ・文化団体活動補助の対象者の解釈について

A・現状の要綱については非常に柔軟に読み取れる部分もあり、そういったところは厳格にしてい

Q・地域おこし協力隊について何か目的を変えたものに対していろんな募集が出来、人数の上限もなかったように思ったが間違いないか。

A・間違いない。

○健康福祉課

Q・带状疱疹ワクチン接種は。

A・対象者に郵送する。

Q・町支援の個別避難計画作成対象者とは。

A・個別避難計画は、要介護3、障害者の方になる。

○住民課

Q・ゴミ袋の対応について

A・店舗が購入に來られて納付書を作成し窓口で支払をしている。役場窓口での個人販売は行っていない。

○総務課

Q・随意契約の額の引き上げについて。

A・物価高騰があり、随意契約の額の引き上げを検討し

ている。

Q・定額減税補足給付金について。

A・令和6年度に実施したものが、税金が確定してない状態で国が支給する様にと通達があり、確定後に対象となった方がいる。125人については推計で算出している。

○税務課

Q・滞納処分執行停止の基準について

A・町の権限で預金調査や確定申告の情報を持っているので、収入のわかるもので差し押さえ可能額と財産と照らし合わせて、当然該当者と聞き取りをして判断している。

産業建設常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：下末典和
委員：水橋直行 信谷俊樹 浜田幸造

令和7年6月議会までの
委員会を報告します。
各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け審議を
行いました。

○地域経営課

Q・大串海水浴場の改修は
A・大串海水浴場の改修工
事については夏の使用時
まで工事完了したい。
Q・レモン苗木補助は
A・昨年に引き続き2,6
00本、購入補助金は2
000円/本。



○企画課

Q・デマンドバス運行は
A・4月からおと姫バスの
路線変更とさんようバス
運行見直しでデマンドお
と姫バス運行拡大を行っ
た。利用者は新たな運用
で戸惑いがあり若干利用
が減った。予約が重なる
ことあるので周知を徹底
する。木江地区はさんよ
うバスに、小原など運行
停止地区の住民はデマン
ドに移行した。



○建設課

Q・柿の浦住宅新築工事は
計画が遅れているので住
民とよく協議を行い、早
急に計画案を提示してほ
しい
A・早く住民と協議して議
会に提案する。



Q・危険建物の公費負担
大は

A・危険建物の公費負担は
現在30万円ですが、危険
な建物が多数あるのを承
知している。昨年度26件
解体、国の補助は135
万円と僅か。今後財政と
協議する。



○環境衛生課

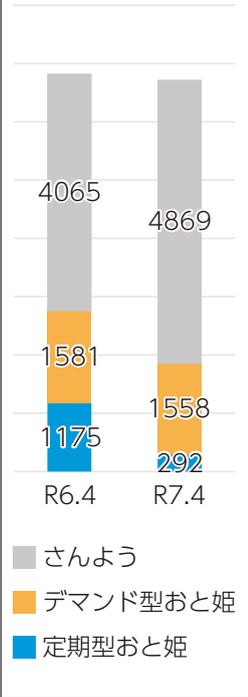
Q・町営住宅条例改正は
A・入居親族要件を上級法
改正により、単身者の入
居ができるようにした。

Q・災害工事は
A・町道東原下向山線災害
工事でのり面対策を6,
519万円で行う。

Q・下水道の公費補助は

過去に柿の設置確認を
して設置しないところに
新たに町民が建物を建設
した場合、多額の下水道
設置費用が発生するので
公費補助できないか。
A・今後検討する。

運行実績



追跡 あれからどうなった (令和6年12月定例議会一般質問から)

質問

新たな定住促進住宅建設の計画について
現状と今後の予定は

回答

建設予定地の選定及び建築の基本計画
を進めている。今後、用地を取得し、
実施設計、本工事に進んでいく予定。

その後の経過

建設予定地については、
中野(向山地区)の旧パチ
ンコ店跡地裏に選定した後、
地権者と協議を重ね、令和
7年5月に土地売買契約を
締結しました。

この土地は、過去に家屋
等の建築物を建築したこと
のない土地であることから、
6月に地質調査業務を委託
契約しボーリング調査を
行ったところです。

今後は、7月に建築設計
の入札を行い、設計業務が
完了したら、令和7年度中
に建設工事の入札を行いた



参考写真:大串定住促進住宅(単身用)

い考えです。
この建物は、単身用、鉄
骨造り2階建て10戸(5部
屋×2階)で建築する計画
で、間取りは1LDKとな
る予定です。完成は令和8
年度末を見込んでいます。

編集後記



改選後、初めての定例会
では7人の議員が一般質問
をしました。

大崎上島町議会の一般質
問は議長を除く議員が事前
に提出した質問通告に基づ
き、60分の制限時間内で質
問できることになっていま
す。

一般質問や議案審議は議
場で傍聴することができま
す。また、youtube
でのライブ中継や録画され
た動画を見ることができま
すので是非ご覧下さい。

議会運営委員会では、町
民の皆さんが議会中継や録
画をご覧になる際に一般質
問項目や議案の内容がわか
るような情報提供ができな
いかなど、意見を出し合い
検討しているところです。

議会だよりを編集する広
報調査特別委員会では、わ
かりやすく、興味を持って
読んで頂ける紙面作りを考
えていきたいと思えますの
で、ご意見がありましたら
お知らせ下さい。

今号の表紙の写真は、体
験型修学旅行で来島した生
徒さんを受け入れた民泊家
庭の皆さんが、離島式後に
フェリーを見送っているこ
ろです。

4月末から7月初旬まで
の間に、関西の中学校8校、
約850名の生徒さんが来
島されました。

島にいと当たり前に見
ることができると、海、山、空
などの景色も、民泊家庭で
の体験も、生徒さんたちに
は忘れられない思い出と
なっただようです。

(森 ルイ)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<https://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長 森 ルイ
副委員長 末光 透
委員 赤松良雄

水橋直行
進藤雅通
下末典和